

令和3年度 第3回 理事会議事録

日時：令和3年8月24日（火）19：00～21：30

場所：Web 会議、県士会事務所

出席：(理事) 磯野、高村、三科、小林(司)、名取、平賀、
菊池、古屋、井村、大西、鈴木、有泉
(部長) 秩父、小林(泰)

書記：五味

会員管理情報

慶事 0 件 弔事 0 件 施設数 144

会員数 933 名 (施設 871 名 自宅 62 名)

磯野会長より挨拶

新潟で開催される関ブロ学会および新潟県士会創立50周年式典等については、まん延防止等重点措置が山梨をはじめいくつかの県にも発令されたため、会場で参加できるのは新潟在住者のみとなり、新潟県外の方はオンラインでの参加になりました。また、同時に予定されていた関ブロ士会会長会議については延期になりました。

50周年記念事業に関しては、協賛金について皆様の所属先でも話をさせていただければと思います。

今後行われる衆議院選挙や次の参議院議員選挙について理学療法士連盟や士会でも意見の共有を図っていききたいと思います。

I. 審議事項 (全1題)

1. Zoom アカウント(ウェビナー)の借用について (北山 理事)

10月3日(日)に一般社団法人日本神経理学療法学会第22回サテライトカンファレンス山梨が開催されます。

準備委員や運営メンバーがほとんど士会の局長や部員で構成されていますので、当士会のアカウント借用をお願いします。

意見・質問

磯野：規定を作成していたと思うが問題はないか。

有泉：会議用のZoomプロを契約した際に規程を作成した。その後研修会用にウェビナーを契約したが規程を改定していない状態。プロとウェビナーで使用用途が違うにもかかわらず規定を作成していなかったことについて大変申し訳なく思っている。現状の規定にあてはめて回答すると、今回の事業については第1条の「本会事業」という部分について判断が分かれるように感じる。

磯野：おそらく、本会事業ということは当てはまらないと思います。ご自身で契約をしていただくことが本来だと思うが、今後は理事会で承認を得ることにより試みてはいかかがか。また、規定についても改定が必要かと思っている。北山先生が借りるということであればその旨を資料とし

て提出していただければと思う。

有泉：事務局として今回のみ借用するための理由等を記載していただき借用書の提出をお願いする。貸仕出しにはやはり理由が必要になってくる。今後は規定を改定する予定。規定に当てはまらない事業等については貸し出しを行わないようにしていきたい。

北山：補足で説明させていただくと、PT学会が分科学会をとり連合学会の下部組織という構図になっている。それらの構成員に理学療法士協会の会員がなることもでき、それらの予算についても協会費で運営されるので全く違う団体ではないということをご了承いただきたい。今後、各分科学会と県士会がタイアップして、協会・学会・県士会の三位一体として各分野の先生方とブロック・分野で支部化をしていきたいという話がある。また、山梨はモデルケースとして候補に挙げられていると聞いている。先ほどの磯野会長の発言であった趣意書等の提出をもって了解いただければと思う。

有泉：それぞれの部分で関係強化を図っていく必要性は感じる。今回は山梨県での開催ということも加味して提出いただければ問題はないと思う。

高村：私も日本神経理学療法学会の理事をしている。また地方ブロックに関わる仕事もしている。今後このようなことが増えてくると思うので連携を図っていききたいと思う。

結果

借用書等を事務局へ提出して借用を決定する。

神経理学療法学会が山梨での開催なので他の士会員に参加を促していく

II. 報告事項

1. 各委員会等の報告

・地域支援事業推進委員会より(小林副会長)

地域包括ケア推進リーダー養成研修を終了した方を対象に、知識のアップデートを目的に他県の様子や意見交換を兼ねて研修を開催する予定。

開催日時：10月16日(土) 13時～17時

講師：岡持 利亘先生

(医療法人真正会霞ヶ浦病院 理学療法士)

畑山 浩志先生

(兵庫県洲本市役所健康福祉部介護福祉課
長寿支援係 理学療法士)

テーマ：地域に求められる理学療法士の期待と課題
皆さんの疑問・困りごと解決します

研修会場：web 開催 (Zoom)

・がんリハ対策推進委員会より(小林副会長)

7月8日(木)18時30分～開催された、令和3年度第1回山梨県がんリハビリテーション推進委員会会議に参加しました。昨年同様に研修会を開催する予定。リーフ

レットについては山梨県がんリハビリテーションワーキンググループで作成したものを印刷することになっている。

開催日時：令和4年1月29日(土) 時間未定

講師：公開講座

辻 哲也先生

(慶応義塾大学病院 医師)

シンポジウム

峯岸 忍先生

(筑波メディカルセンター 理学療法士)

田尻 寿子先生

(静岡がんセンター 作業療法士)

飯野 由恵先生

(国立がん研究センター東病院 言語聴覚士)

テーマ：第2回がんをもつ方のリハビリテーション公開講座

研修会場：web 配信

・50周年記念事業実行委員会より(三科副会長)

文書について皆様の意見を反映させていただいた。明日委員会があるので検討し校正したものを提出する。

50周年記念式典のリハーサルを10月2日(土)に行う。

式典自体は会場とオンラインでのハイブリッド開催ということになっているが、現在の状況を鑑みて、どのような開催方式がよろしいか。

質問・意見

北山：関東甲信越ブロックの緊急事態宣言等が完全になくなるとは限らない。前もって伝えることで心構えも変わってくると思う。

井村：対面開催に批判的な意見がある中ではオンラインでの開催がよいのではないか。

平賀：医療職についての風当たりも厳しい面があるのでオンラインのみでの開催に切り替えてもいいのではないか。

磯野：いつ決めるかについて、例えばまん延防止等重点措置が9月12日(日)で終了となる予定。もし期間が延長になった瞬間に変えるというのも一つの案になると思う。オンラインで行う場合は理事の出席も自宅からになるでしょうか。

三科：そうですね。必要最小限にしたいという磯野会長のご判断でお願いしたい。

北山：まん延防止等重点措置が10月まで延長になるならば考えてもいいのではないかと思うが、県外からの参加はWebで、県内の方の来場についてはもう少し判断を待ってもいいのではないかと思う。

磯野：それは理事、来賓どちらか。

北山：来賓の方も来場される予定なので理事も出席するべきかと思えます。

磯野：県内のことについてはそのような対応で良いと思う。来賓の知事や医師会長はどのような対応で行

うべきか、という事だと思う。

三科：OT・ST士会長もどのような対応が良いか。

磯野：オンラインで行った場合、知事はオンラインで挨拶をいただけるのか。確認をしていただきたい。

平賀：オンラインに切り替えるタイミングは、作業される方の負担を考えると、どこまでに決定すればいいのか基準はあるか。

三科：リハーサル前までにお願いしたい。

平賀：招待状の発送も関わるのでこれらについて考えるとあまり引き伸ばすのも困難かと思う。

三科：まん延防止等重点措置が延長された時点で切り替えるということではいかがか。

高村：知事をお呼びするというので、まず確認をしていただいて、知事の対応によって現段階での山梨県の状況がより見えてくるのではないかと思う。もし、確認の時点でオンラインでの参加ということであればオンラインでの開催が望ましいと思う。

小林(司)：私もその意見に賛成。やはり12日から延長となると厳しいのではないかと思う。

有泉：12日がリミットではないかと思う。オンラインで行うにしてもアピオ甲府開催でよろしいか。

三科：はい。

有泉：あとは、オンラインで行う時には会場には必要最低限のスタッフと講演を行う方のみで行うことが望ましいと思う。

結果

知事の挨拶の対応がどのようになるか確認をして、9月12日(日)のまん延防止等重点措置の対応によってオンラインのみか会場での開催か検討する。

・配信について

公開講座までをYouTubeで行い、記念式典に関してはウェビナーにて行う事を考えている。委員会の中では、YouTubeというオープンな環境での配信について申し込みの依頼をする必要があるのかについて議題にあがっている。

・その他のことについてもFacebookを利用して動画の募集を行うなど活動を行っている。

・協賛金については、現在25施設112口56万円(概算)集まっている。目標は30~40万円でしたので達成されている。ご協力に感謝する。

・当日の次第について、オンラインになってもタイムスケジュールには変更はない。

・功労者の表彰の名称について、功労ではなく感謝という言葉を用いて行いたい。

当日参加が難しい場合は表彰のみ行い、お言葉は記念誌に掲載する。

意見・質問

井村：記念講演の広報について、経験上人を呼ぶことが難しい印象がある。予算では講師代以外はチラシ

を折り込み等に多くを使用していた。

三科：恵信梨北リハビリテーション病院の上田先生にもご協力いただいて中・高のスポーツを通じた広報活動を行っている。井村先生のご質問はチラシについてよろしいか。

井村：今までの公開講座開催で高齢者の方を会場にお呼びするノウハウはだいぶついてきたように感じる。

普段から講演会を探している方も多く来場いただいた。今回はオンラインでの開催ということもあり、高齢者の方の参加も難しいように感じる。

三科：今までのターゲットが高齢者で、今回はどちらかという若年者がターゲットになっているので広報活動に予算をかけない方法もあるのかと思う。高齢者がオンラインでの参加というのは確かに難しい印象がある。

チラシの申し込みは期限があるということか。

井村：そうです。準備はしていると思う。あとは予算がどのくらい使えるのかということになってきている。今回 50 周年記念ということで、より多くの方に聞いてほしいので予算をかけてという方法もある。

三科：チラシについては山梨日日新聞か。

井村：エリアごとに使い分けている。

三科：今回オンラインということでこれまでのエリアごとの広報も意味をなさなくなっているように感じる。これまでは人口が多いところに重点的に行っていた。

鈴木：YouTube 配信については講師の許可はいただいているか。

三科：いただいている。

鈴木：この配信については山梨県内という制限があるということか。もし、医療従事者を狙っている方なども興味があると思うので、養成校などにも PR してもいいのではないか。

三科：キャパシティーに余裕があれば制限なく行えるとは思いますが。

平賀：他の県士会では全国に配信をしている例があるので、承諾をいただければ全国配信してもいいのではないか。

三科：依頼文で県内という条件で承諾を得ていたの、今後確認をしたい。

大西：今回講師を選定する際に主旨として高齢者向けなのか若年者向けなのか決めたと思うが、それによってこれまでの広報活動の方法を変えてみるのもいいのではないか。

三科：また諸々確認をしたい。

・学校保健推進執行委員会より(有泉事務局長)

7月31日(土)に行われた(公財)運動器の健康・日本財団主催のオンラインシンポジウム「児童生徒等の運動器

の健康を守り学校での重大事故を防ぐために」に約 750 名もの参加があった(定員 500)。その後、全国から協会に問い合わせがあり、協会から士会を相談窓口として紹介してもよろしいかという問い合わせがあった。

学校保健について当士会では未整備であったため、8月18日(水)にオンラインにて第1回の話し合いを行った。その話し合いで

①問い合わせ窓口を士会事務局とする

②当面は学校保健について取り組んでいる健康科学大学の粕山先生のお力を借りながら、相談内容次第でスポーツ PT 部や特別支援教育の高村先生にも協力を仰ぐ

③士会では小・中・高を通して対応できる組織構築をする

④恵信葦崎相互病院の長田先生に担当者に就いていただき関係者でバックアップをしていく。

意見・質問

磯野：現状行っている委員会等とともに考えていくべきか悩みどころではある。検診のつながりで関わりを持つということでもいいのではないかと思う。理学療法士としてこれから発展性のあることだと考えているので、士会としてもバックアップしていけたらと思う。

3. 企画局調査研究部・企画局企画研修部より(井村企画局長)

①ワークライフバランスに関するアンケート調査実施について

以前から検討していたアンケート調査について、意見をいただいた還元できる場面について、「アンケートを通して自身の環境を整理・確認する」、「結果から自身または自施設の強み・課題を把握する」、「課題に対して研修会を実施していく」ことを挙げた。

Google Formにて3回(9・10・11月)実施していきたいと考えている。メールで配信したいと思っておりますが、この目標等を掲載していただくことは可能か。

意見・質問

磯野：施設毎優劣をつけるためのものではないことと、施設に踏み入ることはできないことも伝え方がいいと思う。

結果

ワード文書にてアンケートの目的等を記載して配信をする。

②令和3年度企画研修部研修会について

コロナ禍で今後の臨床実習や新人教育の考えや実施方法の変更が必要になってきます。そのため、今回研修を2つのテーマで行っていく。

研修会 1

開催日時：11月～12月 19時～21時

講師：豊田 輝先生(帝京科学大学 准教授)

テーマ：コロナ禍における臨床実習について(仮)

研修会場：Zoom

研修会 2

開催日時：令和 4 年 1 月～3 月 19 時～21 時

講師：豊田 輝先生(帝京科学大学 准教授)

テーマ：応用行動分析学を用いたコロナ禍卒業後の
新人指導について(仮)

研修会場：Zoom

研修会の前にディスカッションを行いたいと考えている。その後①臨床実習における現状の課題の共有②課題がどのような要因により生じているかの分析③コロナ禍の新人教育を応用行動的な切り口で対応案を提示の 3 点を行う予定。

4. 社会局委託事業部より(古屋社会局長)

ダイハツ工業よりコロナ感染者の急増により甲府店で 9 月 7 日(火)、富士吉田店で 9 月 15 日(水)に予定されていた健康安全運転講座について中止の連絡があった。

来年度も実施予定との連絡もあった。

5. 生涯学習局新人教育研修部より(北山生涯学習局長)

①生涯学習担当者意見交換会について

8 月 11 日(水)に Zoom にて関東甲信越ブロック生涯学習担当者意見交換会が行われた。

②新生涯学習システムに関する説明会開催及び認定・専門カリキュラム教育機関について

新生涯学習システムの説明会開催を考えている。第 1 回を 11 月～12 月、第 2 回を 2 月～3 月の上旬に設定し、協会の担当者から説明を受けるようにしたい。

新生涯学習システムは複雑な部分もあるので、理事の方々の職場や知り合いの方々にも周知をしていただきたい。

認定過程等についても認定理学療法士をお持ちの先生方に協力していただき、研修を山梨県内で実施することができるよう体制づくりをしていきたい。

研修費について自由に設定できるとのことだが、他県の様子等情報収集が必要だと思われる。

これからも情報が更新され次第伝えていく。

5. 広報局広報部より(大西広報局長)

7 月 17 日(土)の理学療法の日に合わせて東京三誌(毎日、朝日、読売)に広告記事を掲載しました。50 周年事業については 7 月 27 日(火)付けの山梨日日新聞に掲載をおこなった。

6. その他報告

①磯野会長より研修会のお知らせ

10 月 5 日(火)18 時 30 分より研修会を行う。講師は甲州リハビリテーション病院の佐藤院長に依頼をしている。

甲信越の在宅医療フォーラムという在宅医中心の研修会が 10 月 3 日(日)に開催を予定。公開講座で池田清彦先生に依頼をしている。

ともに Zoom で開催となる。

②高校生 1 日リハ体験について(小林副会長)

今年からリハ専門職団体協議会で委託を受けている
コロナ禍で病院の受け入れが難しいので web で PT・OT・ST の仕事について紹介を行い、フレッシュマンの発表も OT が担当で行う予定。

③循環器についての意見集約について

山梨県からの依頼で循環器疾患の取り組みについて意見集約をしたいと思っておりますが、範囲が広がってしまっていて、どのように進めたらよいか意見を伺いたい。

意見・質問

磯野：メールをいただいた時には、期間も迫って理事間(数名)で何題か出して作成をしようと考えてた。

有泉：かなりの量の資料になっている。リハビリについても多く明記されていた。回復期については内容が充実しているようだが、その他の分野についてはもう少し内容を濃くした方がよさそうである。

磯野：明日中に意見を下さい。内容の切り口として予防・運動習慣という部分を充実した方が良いように感じた。

小林(司)：皆様意見をお待ちしております。よろしくお願ひする。

④臨床実習指導者研修会について(平賀士会支部設立推進局長)

今年度の申し込みが 9 月 4 日(土)で締め切りとなる。まだ空きがあるので職場等で周知をお願いする。

III. 事務管理局より(有泉事務局長)

①山梨県理学療法士連盟との連絡会について

8 月 19 日(木)にオンラインにて実施しました。衆議院選挙について話が行われた。協会及び全国連盟では自民党候補者への推薦について依頼があった。士会及び県連盟としても山梨選挙区での自民党候補者推薦を行う方向で一致した。

②協会会員 50 年感謝状表彰について

今年度は長澤先生(元士会長)が協会から感謝状が贈られた。協会から連絡があった。

③今後の予定の確認

9 月 28 日(火)	第 4 回理事会
9 月 30 日(木)	令和 3 年度上半期締め日
10 月中旬	前期監査資料提出
10 月 26 日(火)	第 5 回理事会 (中間監査資料承認)
11 月上旬	中間監査
11 月 30 日(火)	第 6 回理事会 (中間監査報告)

④メール配信について

令和 2 年 10 月 1 日(木)より配信開始。

令和 2 年度中に 30 件の配信。

登録者数は 8 月 22 日(日)時点で 684 名(一部重複・エラーメールあり)。

令和 3 年度は 15 件をメール配信。

IV. 次回の理事会日程について

理事会

令和3年9月28日(火) 19:00～

場所 Web会議

連絡 9月24日(金)までに審議事項および資料を
事務局(有泉理事)へ提出する。

議題がない場合でも事務局へ連絡する。